

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	クラフトの里管理運営事業	会計名称	一般会計		担当課	経済雇用戦略課	
		予算科目	7 款 1 項 5 目	事業番号	3290	所属長名	大谷基文
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)				担当責任者名	本田真	
法令根拠等	伊予市なかやまウッドクラフトセンター条例、そば打ち体験施設条例、木工クラフト体験施設条例、伊予市なかやま優良木材活用モデル施設条例				実施期間	【開始】	平成 17 年度
総合計画での位置付け	産業振興都市の創造 賑わいのある観光の振興					【終了】	平成 年度(予定) ■ 設定なし
総合計画における本事業の役割	賑わいのある観光振興のため、観光施設のPRを行い、都市住民との交流を図る。						
事業の対象	都市住民			事業の目的	木材工芸品の展示販売等を通し、都市住民との交流を促進し、市の活性化に資する。		
事業の内容 (整備内容)	木材工芸品等の展示販売、そば打ち体験、木工クラフト製品の展示販売、製作体験。			昨年度の課題に対する具体的な改善策	指定管理者である㈱プロシーズと施設改修・施設運営の内容について、再度協議を行い、利用者の増加や売上の増加が見込めるよう、改修内容を見直す。		

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)					
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	28 年度実績	29 年度予定	9月末の実績	29 年度実績
直接事業費	6,316	6,719	66,287	10,948	14,197	58,408	入込み客数	人	75777	75000	54298	72817
財源内訳												
国庫支出金		0	0	0	0	0						
県支出金		0	0	0	0	0						
地方債		0	0	9,000	0	43,200	販売額	千円	67254	66500	35723	52862
その他		0	0	0	0	0						
一般財源	6,316	6,719	66,287	1,948	14,197	15,208						
職員の人工(にんく)数	0.20	0.42				0.42						
1人工当たりの人件費単価	8,086	8,017				8,017						
※ 直接事業費+人件費	7,933	10,086				61,775						
主な実施主体	株式会社プロシーズ		実施形態(補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)		指定管理料							
向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)					30 年度	31 年度	32 年度	33 年度	34 年度	5年間の合計		
					106,700	56,700	6,688	6,688	6,688	183,464		
成果指標	指標	入込み客数	単位	人	⇒	区分年度	28 年度	29 年度	30 年度	目標 毎 年度		
	指標設定の考え方	施設活用の効果の判断基準となる入込み客数とする。				目標	75000	75000	75000			
	指標で表せない効果					実績	75777	72817				

施策を踏まえた判断	二次判定	<input type="checkbox"/>	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒ 指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。 7月末に改修工事が完成予定である同施設は「道の駅なかやま」として登録される予定である。今後、中山の玄関口として入込み客数の増加に努める必要があることから行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。	

行政評価委員会の答申	外部評価	<p>答申の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以前英語版のそばのレシピが置いてあった。インバウンドが増える中、おもてなしの気持ちがありいいと思った。 ・クラフトの里で対応されている方には、売上を少しでも伸ばそうというモチベーションが働く仕組みにしてほしい。 ・指定管理料の減額が目標とのことであったが、利益運動の考え方で、単に固定費を下げるだけでは魅力ある施設作りにはならない。指定管理料の取扱いについては再検討いただきたい。 ・道の駅がカーブの先にある。今の通行ではなかなか分かりにくいと思う。一工夫いるのかなと思う。 ・地元産の何かを活用した目玉を作っていただきたい。中山というブランドを生かせる商品を置いてほしい。施設の魅力については、ロコミが大事だと思う。 ・スマートインターチェンジ開通に合わせ、もっと充実したクラフトの里運営ができるようにしてほしい。 ・木材工芸品を目的にするには抵抗がある。クラフトの里にかぶせて推し進めるなら運営の工夫が必要である。 ・アクセスの問題や施設表示、看板はこれから十分考えていただいた方がいい。 ・身体障害者の駐車スペースは割合便利が悪い。利用者の意見を聞き、改修する時期が来たときに意見を汲み取ること。
------------	------	--

今後の方向性 (ACTION)

の経営者判断	事業の方向性		コメント欄 道の駅としてスタートし、従業員も新たな気持ちで取り組んでいる。
	<input type="checkbox"/>	さらに重点化する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状のまま継続する。	
	<input type="checkbox"/>	右記の点を見直しの上、継続する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の縮小を行う。	
	<input type="checkbox"/>	事業の休止、廃止を行う。	